



VedAnk News



Happy Diwali (ハッピー ディワリ)

今年のディワリが、あなたに平和、幸福、そして大切な人たちの温かさをもたらしますように…。

ディワリはヒンズー教の神話に由来し、インドで最も重要で広く祝われるヒンズーの新年を祝うお祭りです。光が闇に、善が悪に勝利することを象徴し、米国、カナダ、英国、シンガポール、マレーシアなどの多くの地域でも祝われています。ディワリという言葉は、サンスクリット語で希望と再生の象徴である「光の列」を意味する "Deepavali" (ディーパヴァリ) という言葉に由来します。

インドでは、この祭りは 5 日間続き、それぞれの日に意味があります。家を掃除し、色とりどりのライトやディヤ(オイルランプ)、鮮やかなラングリ(色粉や花で作られた装飾デザイン)で飾り、豊かさの



恵みを歓迎し、来たる年の幸運と繁栄を招きいれます。家族や友人が集まり、ヒンズー教の儀式を行い、贈り物を交換し、伝統的なお菓子を分かち合い、豪華な民族衣装を身にまと

い、盛大にお祝いをします。花火が夜空を照らし、家々はイルミネーションで飾られ、人々が一緒に新たな始まりを祝うお祭りモードでにぎわいます。

オフィスビルもお祭りのイルミネーションで装飾され、従業員はディワリ期間中に少なくとも一日は民族衣装を着用するようになっています。ラングリの装

飾やドレスアップのコンテストが開催されたりします。また、特別なランチと伝統的なスイーツを楽しみ、ボリウッド音楽やダンス、ゲームやアクティビティなどが用意されています。

ところで、11月の11という数字は算数パズルでよく使う興味深い数字の一つです。例えば、右の枠の中の掛け算を注意深く観察すると、面白いパターンがあるのがわかりますか？1だけの6桁と7桁の掛け算もすぐできるでしょう。

日本は、ようやく秋を迎え、紅葉がきれいですね。「菊と思索と英知の 11 月…」私は最近読んだ本にこの一節を見つけて気に入りました。西暦の新年の到来も間近に迫っています。皆さんが、2024年の目標をやり切って、幸せな新年を迎えられますように。

$$\begin{aligned} 11 \times 11 &= 121 \\ 111 \times 111 &= 12321 \\ 1111 \times 1111 &= 1234321 \\ 11111 \times 11111 &= 123454321 \\ 111111 \times 111111 &= \text{try this } \textcircled{23} \\ 1111111 \times 1111111 &= \text{try this } \textcircled{23} \\ 11111111 \times 11111111 &= 123456787654321 \\ 111111111 \times 111111111 &= 12345678987654321 \end{aligned}$$

代表 ニルマリヤ グハ レイ (RAY)



筑後市の中学校のPTA 家庭教育学習の講師として、登壇させていただきました。テーマは、「グローバル社会における数学と英語の力」ということで、レイ先生の体験をもとに、インドの生活や教育事情、世界で活躍するインド人、日本でこれからやっていきたいことなどをお話させていただきました。(2024.10.15)



今日のひとことスパイス

11 月も半ばになりましたが、日中は真夏のように暑かったり、寒暖の差が大きく、体調を崩されてませんか？

秋は、運動会や遠足、保育参観などの行事続きで、4 歳になった息子は、たくさんの新しいことを体験して、楽しそうにいろいろと話してくれます。また、好きな本や音楽は何度も何度も繰り返して読んだり聞いたりして、自然と覚えていきます。

そんな息子に刺激を受け、私も久しぶりの読書。父が進めてくれた『**子どもの脳がグングン育つ 読み聞かせのすごい力**』（佐藤亮子著、致知出版）という本です。著者の佐藤さんは、絵本 1 万冊・童謡 1 万曲の教育で、三男一女を東京大学理科三類へ進ませたという、教育評論家です。私は、



息子を東大に！とは毛頭思ってませんが、母親として幼少時代の教育には関心があります。ヴェーダンクアカデミーでも、インド数学を通して子どもたちの「創造力、

思考力、柔軟性を育む」ことをめざしていますが、佐藤さんは、これから大変な時代を生きていくうえで子どもたちがよりしっかりしたコミュニケーション力や思考力を付けるにはどうしたらよいか、次のようにおっしゃっています。

思考力のもとはいわば言葉の魂であり、子どもは言葉を操りながら思考力を高めていきます。……いきなり生まれたばかりの子供に難しい言葉を聞かせても体の中に入りません。子どもが楽しいと思う言葉から始めるべきでしょう。つまり、昔からの変わらない『絵本の読み聞かせ』は鉄板の方法といえます。

私も、幼少のころ、寝る前に毎晩母から本を読んでもらっていた記憶があります。小学高学年の頃は、伝記や外国の小説などが好きで毎日のように図書館から借りて読んでいました。そうやって、自分の世界を広げていたのと同時に、自然と読み書きの力もついていたと思います。

カナダに移住した日本人家族の子供への英語習得や成績に関するある研究結果によると、小学校レベルまで日本語をきちんと学んだ子の方が、結局、後から英語の読解能力もつきやすいそうです。つまり、**母国語の土台を耕し、考える力を育てておくことが英語読解力の向上につながる**ということでしょう。

もちろん、英語でコミュニケーションができれば、世界が広がるのは事実です。小さい頃に、英語が周りにある環境であればいいですが、そうでなくても焦る必要はないのかなと。

また、人間は、いくら言葉を習っても、**体験**を伴わない言葉は頭に入ってこない、といえます。子育ては十人十色。18 歳過ぎたら自分で人生を切り開いていけるように、今は、愛情たっぷり注いで、子どもと一緒に楽しい経験を共有したい。外で思い切り遊んだり、旅行して違う環境に触れたり、いろんな体験をさせて、**AI に負けない生きる力**を育んでほしい——そう願います♡

--- Erica



学校・教育機関、企業、各種団体、グループでのインド数学の体験レッスンやワークショップ等（対面、オンライン）のご要望がございましたら、下記の電話、Eメール、LINE 等からお気軽にお問い合わせください。

また、ニュースレターの内容に関してご意見やご提案もお待ちしております。（過去のニュースレターは、ホームページでもお読みいただけます）

◆ お問い合わせ・お申し込み ◆



ヴェーダンク アカデミー

VedAnk Academy

携帯電話: 070-8455-3125 松藤（日本語・英語）

メール: vedankac@gmail.com

ホームページ: www.vedankacademy.com/ja

〒832-0051 柳川市大浜町 815-6 (yoga&cafe あうん駐車場横の建物)

